

備後

教区報

第 136 号

bingo kyokuho

CONTENTS

◇大遠忌ニュースフラッシュ

◇クローズアップ備後

備後学僧逸伝

◇坊守探訪 神石組 金蔵寺

◇ルポ 「みのりせんべい」

◇特集 「ECO」って何だろう

北の国から―ある僧侶の挑戦

◇NEWS&活動情報

布教団―「通夜」リフレット

◇予報・インフォメーション



いのちつながりも大切に

親鸞聖人750回大遠忌 中国ブロック記念事業

大遠忌 News flash



お言葉を述べられるご門主

3月3日、平和公園内にある広島国際会議場フェニックスホールにてご門主ご臨席のもと「親鸞さまとであう集い」が開催され1500名の参加があり備後からは60名が参加した。

「集い」は三部構成となっており、第一部は音楽礼拝、第二部は創作劇「善人なおもて往生をとぐ」のメインキャスト、音無美紀子さん、中山仁さん、川崎麻世さん、菅生隆之さん、菅野菜保之さんによる公募詩「いのちの讃歌」優秀作品の朗読が秋津智承願船坊副住職(チェロ奏者)演奏の中行われ

▲音楽礼拝(コール・スガンディ)

▼フェニックスホール会場内



音無美紀子さん、中山仁さん、川崎麻世さん、菅生隆之さん、菅野菜保之さんによる詩の朗読。演奏はチェロ演奏者の秋津智承願船坊副住職(左)



レセプション



湯崎英彦広島県知事

同日、記念レセプションでご門主ご臨席のもと、ANAクラウンプラザホテル広島にて開催された。ご門主、関係者の挨拶の後、広島別院参与の湯崎英彦広島県知事の乾杯挨拶で、レセプションは

た。

そして第三部は、新垣勉テノール歌手によるコンサートが行われ、笑いを交えた語りと美しい歌声を披露した。終了後にご門主、参加者全員が原爆死没者慰霊碑に献花を行った。

和やかにスタートした。

閉会では田中明宏広島別院輪番が、「これまでとこれから」の様々な行事が、一つの輪となりその一つひとつが念珠の輪のようにつながり、来年の法要にお参りしたい」と締めくくった。



ALOSOKホール

3月4日、5日、6日と記念公演「創作劇善人なおもて往生をとぐ」親鸞わが心のアジャサー」がALOSOKホールにて開催された。4公演が行われ、備後からは400名が観劇した。

備後学僧逸伝 ①

昨年末、勸学の世羅組真行寺は山恵覚師の没後八十年を記念して、初の展覧会と講演会が開催された。また、今年は同じく勸学、鴨川組勝願寺の足利義山師の百回忌を迎える。時代が経過し、備後の輩出した学僧らの名前を聞く機会や人々の記憶も薄れてくる中で、改めてこの学僧らの生涯や激動の時代を振り返ってみたい。第一回は、島津慧海勸学(世羅組正満寺)。以後、順次連載し紹介していく。(敬称略)(文責・教区報専門委)

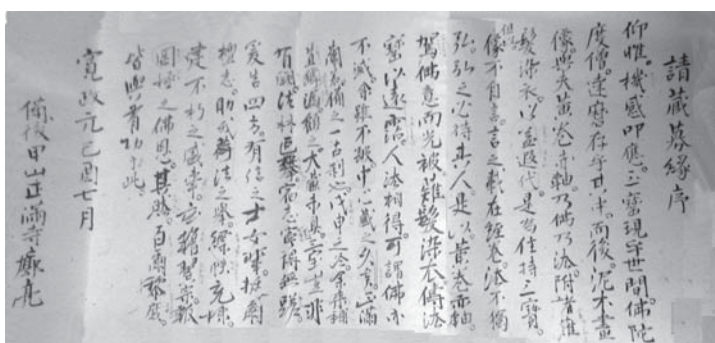
Close-Up-Bingo

◆クローズアップビンゴ

三業惑乱と芸轍の学僧

鎌倉末期、備後に伝わった浄土真宗は「安芸門徒」というように芸州に根付き、江戸中期から後期にかけて「芸轍」と呼ばれる多くの学僧を輩出した。

江戸後期、本願寺は宗学の最高権威者であった学林の能化に対し芸轍などの在野の僧により絶対他力の立場から異安心論争(三業惑乱1797(1806)が始まる。



大瀛が有縁の門信徒に『大蔵経』を求める序文(正満寺蔵)



慧雲・大瀛・曇龍・僧叡・慧海・義山など芸備諸師の書や絵を一堂に会した軸(真行寺蔵)

やがて、論争は各々の支援者の間で暴動にまでエスカレートした結果、幕府の裁判を経て在野側の勝利で終わる。

「三業惑乱」後、本願寺の能化職は廃止され、学林は複数の勸学による学林統率へと制度が変更される。学階制度も加えられて今日の勸学寮へと続いていく事になるが、「三業惑乱」で活躍した大瀛の学派(苅園学派)も斜陽化し、むしろ芸州で大瀛の影にあった僧叡の学派(石泉学派)が根を広げていった。

それを開花させた備後の学僧たちの功績が大きい。

語句説明

芸轍：安芸報専坊の慧雲が甘露社という学寮を設ける。そこから江戸時代に芸轍(芸州轍)と呼ばれる優れた真宗学僧が多く輩出された。

大瀛：芸轍・慧雲門下。苅園社という名の学寮を建てたので大瀛の学派を苅園派と呼ぶ。三業惑乱にて在野学僧の反論の先頭に立った。正満寺には寛政元年から2年半入住された。

僧叡：芸轍・慧雲門下。石泉派の祖。慧海にとつて師の僧叡と大瀛は従兄弟同士で両者の勧めもあって正満寺に入寺したとされる。



大瀛の墓

備後最初の勧学・宗学統合の貢献者

正満寺と備後の学僧

備後の学問寺として一番に名を挙げられるのは、大瀛も一時期入寺し同門下の慈幢も住持した世羅の正満寺。

正満寺にて石泉(僧叡)門下のホープ慧海が「学心館」という学寮を開いた。

備後出身の高名な真宗学僧として挙げられる足利義山や福岡浄観

も慧海門下から出てくる。後に浄観は「摩訶衍寮」という私塾を開き、その門下には山恵覚らも出る。慧海は備後から出た1人目の勧学。2人目は足利義山で3人目は浄観門下の是山恵覚。4人目が義山の二男足利瑞義となるが、備後の学僧を語る上において、慧海を欠かすことはできない。示寂されてから150年も経つため、慧海の足跡は非常に少ないが、その人物像に迫ってみたい。

も慧海門下から出てくる。後に浄観は「摩訶衍寮」という私塾を開き、その門下には山恵覚らも出る。慧海は備後から出た1人目の勧学。2人目は足利義山で3人目は浄観門下の是山恵覚。4人目が義山の二男足利瑞義となるが、備後の学僧を語る上において、慧海を欠かすことはできない。示寂されてから150年も経つため、慧海の足跡は非常に少ないが、その人物像に迫ってみたい。



今日の安芸門徒の礎を築いた慧雲・大瀛・僧叡の三師の碑(安芸戸河内 真教寺)

慧海

世羅正満寺十一世住職
勧学 諡 甘露院



「慧海勧学の墓」(1798～1854)
隣には足利義山が慧海勧学50回忌にその遺徳を偲んだという碑がある

慧海の生涯

寛政10(1798)年、芸州和庄村畑(現在の呉市)の庄屋・太刀掛狼左衛門の子に生まれる。「灰峰」という号を持つが、実家が呉市の灰ヶ峰の麓であったため。

青年の頃、福岡藩に仕える高名な儒学者である亀井道載(かめいどうさい)の門下に入り漢籍を学び、帰国後は実家に近い呉市長浜の「石泉社」に入門する。

石泉社は芸州の誇る石泉(僧叡)

慈幢…大瀛門人。逸話に、藩主が

浄土宗を保護する中で、慈幢が住持してからは真宗に帰する者が多くなり問題となる。慈幢は役所から尋問を受けるが「宿善による事である」と答え、どちらが善いか悪いとか決して言わないので、役人はその点をほめたという。また、不在中に悪徒のために寺は焼かれてしまうが慈幢は驚くこともなく「これも時節です」と言っている。その後、役人が急に寺の再建を申し付けたが、一年足らずで立派な本堂が出来上がったため、人々は末代までの不思議と讃えた。

石泉社…僧叡の私塾。大瀛の示寂後、学僧が最も多く集まり、その中でも浄眼・僧鑑・円識・慧海・泰蔵の五人は、再生後の西本願寺の最高学位勧学になっている。

護命…安芸明泉寺。司教。僧叡や慧海門下。信相論争している。

の学寮で慧海はこの僧叡のもとで専心宗学を修め、やがて僧叡門下の高弟と呼ばれる存在になる。

同じ門下の護命は慧海と同じ年齢でありながら、僧叡示寂後に慧海を師としているほどである。

正満寺の記録によると、妻の八重とともに入寺、寺の近くの甲山町下内に学寮「学心館」を設けて子弟の教導に力を尽した。足利義山や福岡浄観、慈雲らも門下になっている。

慧海は道心すこぶる厚く教導も懇切を極めた。今に至るまで安芸の呉市に信者の多いのは慧海やはその余沢によるといわれる。

天保15(1844)年7月、46歳で司教を授けられ、嘉永3(1850)年には本願寺の安居に『讃阿弥陀仏偈』を副講する。

そして、翌年の嘉永4(1851)年10月16日には勸学を53歳で拝命している。

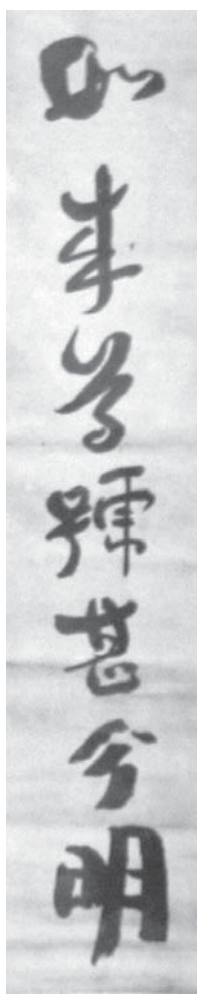
これほどのスピード出世した司教と勸学はいないといわれている。

「三業惑乱」決着以後、各地にさまざまな学派が生まれ信心の解釈が分裂していたが、『浄土真宗要義論題』四巻を著し宗学統合に貢献したことが中央で評価されたと推測されている。嘉永5(1852)年に学林年預となり、同6年春講で『浄土論』を、そして夏安居で『観無量寿経』を講じた。

著書の多くは門弟の講訂によるが中でも『要義論題』は真宗宗学上、重要な題目五十四条を揚げ、一々その梗概を叙し、簡明に其題意及び立義の概要を了解せしめ特に悉く問答体を用いたのは益々創学者に便である」と高く評価される。

慧海は僧叡の石泉学派に属するがそれに固執はしなかったようである。

左は慧海の書だが所在は不明



解説…如来の尊号は一人一人の凡夫を見分けて ことごとく救うことが明らか

ある。

当時、中央の学林は越中や堺の空華学派が主流で大瀛門下曇龍の龍華学派などが続いていた。石泉学派はとかく究明対象になっていたが、この状況下で出世した力量は相当なものであったのだろう。門下に対して『三経七祖』にわたって講義したことは幾百席にも及んだが、記憶が強い慧海は講録などのメモを造る必要がなかったと伝えられている。

また、しばしば深夜に坊守と共にご法義談に及ぶことがあるので伴僧等がひそかに寢室を盗聴したというエピソードも伝わっている。

また、慧海が京都の学林に550日間役務として寺坊を留守にする予定だったが、病気のために嘆願して早く帰国した、という旨の内容を役所に届け出た記録が残されている。幕藩体制の時代背景を知る上でも貴重な資料である。帰郷して間もなく安政元(1854)年、57歳にて慧海は示寂されているが、その後の明治、大正、昭和にかけて備後ゆかりの仏教関係の偉人が多く輩出されていることに少なからず影響を与えている。

慈雲：龍川慈雲。石見善正寺。司教

たことであろうと思われる。次回以降の学僧逸伝で順次紹介していきたい。

慧海の役所への届け出(写し)
(正満寺蔵)



当町真宗正満寺上京仕御用向相済
帰郷仕候段御注進書附
覚

一、拙僧義
京都西本願寺表学林去子ノ秋年
預並当五年代講被仰付候付日数
五百ノ



神石組 金蔵寺

杉原 仁美 坊守

坊守探訪

VOL.27

子どもの声が

溢れるお寺にしたい

今回お訪ねしたのは、神石組金蔵寺・杉原仁美坊守さんです。金蔵寺さんのある神石高原町は平成16年に旧神石町・油木町・豊松村・三和町が合併して出来た町で、広島県の中東部に位置した静かな所にあります。取材当日はさほど寒さを感じなかったにも関わらず県道27号線沿いの道には雪があり、出迎えて下さった坊守さんに「今朝は氷点下7度でした」と聞かされびっくりしました。(聞き手〓立神多恵香委員、長裕美委員 写真〓山下瑞円委員)

合唱団がご縁でした

立神多恵香委員 よろしくお願ひします。さて、金蔵寺さんは寺基移転されたと伺いましたがいつ頃の事ですか。

杉原仁美坊守 以前はもっと山の上にありましたが、限界集落でポツンとお寺だけが存在する状態でしたので、10年くらいの準備期間を経て平成15年に移転しました。

委員 そうですか。では坊守さんがこちらに來られたのは移転された後ですね。

坊守 そうですね。結婚したのが16年ですから。

委員 どちらから來られたのですか。

坊守 静岡県の磐田市から來ました。

委員 それは遠いですね。どういうご縁があったのでしょうか。

坊守 私も住職も大学の時合唱団にいたのですが、私の大学と住職の大学が合同で練習する機会があったものですからその時知り合いました。

委員 住職さんがお寺の人と知ってお付き合いするのに、不安

はなかったですか。

坊守 周囲の大反対もありましたし環境的には不安もありましたが、大恋愛でここまで來ました。

やりたいことはたくさん

委員 實際飛び込んでみられていかがですか。

坊守 そうですね、結婚してすぐに子どもが生まれたので、子どもと一緒に歩んできた日々でした。6年経つてようやくこの地に生活の根がおりた様な気がします。お寺の事も金蔵寺の前坊守さんも住職の里の母も亡くなっておられるので、見よう見まねで覚えたり、住職に聞いても分からない事は、組内の坊守さんに教わったりしています。神石組はみんな仲が良いので色々助けて頂いて助かっています。

委員 そうですか。全ての事が初めてなので大変だったでしょうね。ではお寺の活動について教えてください。

坊守 法座は永代経と報恩講です。他には時々初参式をしたり、月に一度門徒さんを先生に数名で生け花教室をしています。今は婦人会などの組織も何も無いのでこ

れから徐々に活動をしていきたいと考えています。最近初心者向けの勉強会を始めました。私はやりたい事がたくさんあって、あれもやりたい、これもやりたい、と言っ

ては住職に「よく考えて始めた方がよいよ」と言われます。

委員 そうですよ。一度に色々始めても難しいかもしれませんね。誰かお寺の手伝いをして下さる方はいらつしやいますか。

坊守 代々お寺のお守をして下さる方が居られるので、その方を中心にして声を掛けて頂いていきます。法座の時は「お斎」といつても弁当をとってお汁を作ったり、ちよつとしたお惣菜を出すだけなんです。どうしても子どもの面倒がみれないので、子ども達も皆さんの所へ連れて行ってみんなを育ててもらっている感じですね。

二人で出来る事がありがたい

委員 子どもが小さい時は、そうなりますよね。でもかえってそれがご門徒さんとの繋がりになって良いかもしれませんね。お寺の事に、子育てにと頑張っておられる坊守さんの息抜きというか趣味は何でしょう。

坊守 今一番はまっているのがパン作りです。ホームベーカリーで焼くのですが、やり出したら奥が深く楽しいです。それとまだまだ初心者ですがお菓子作りも始めました。

委員 先程頂いたチーズケーキも美味しかったですね。では、大恋愛の末結ばれたお二人ですが、結婚して良かった事と云えばどんな事ですか。

坊守 お寺は住職と一緒にいる



これまでの経験を活かして

時間が多いので、何でも2人で出来る事が有り難いです。それと、結婚する前に習っていた華道や茶道が活かせるのもうれしいです。

委員 確かにそうですね。

坊守 最近子どもと一緒にエレクトーンを習い始めました。いつか住職がコーラスをして私が演奏

出来たら良いなと思っています。あと、着付けも習いたいですね。

委員 いろいろ、行動を起こさされている坊守さんですが、これらの夢を教えて下さい。

坊守 理想としては、子どもが沢山来るようなお寺、常に子どもが入り出して境内に声が溢れるようなお寺になれば良いと思います。私自身これといって特色の無



い人だと思っているのですが、結婚する前に図書館で働いていたので、その時の経験を生かして、読み聞かせ等も出来たらいいですね。

委員 それは素晴らしいですね。子どもだけではなく法座の時など仏典童話のようなものを大人に聞いてもらうのも良いかもしれませんね。

坊守 今はまだ、少しずつですが寺報も発行し始めたので、色々な事をお寺からも発信していきたいと思っています。

委員 本場にこちらからの声かけが大切ですね。今日はありがとうございました。

〈取材を終えて〉

やりたいことが沢山あるというアクティブな坊守さんと、じっくり考える住職さん。若いお二人の活躍で、一月の寒い境内の中に沢山の子どもの笑い声が聞こえてくるような気がして、思わず心が温まる一時を過ごさせていただきました。近くには「湯つ蔵さんわ」という温泉施設もあるそうで、一度訪れてみては如何でしょうか。

ルポ

最近「みのりせんべい」を食されただろうか。教区内を中心に多くの顧客を持つ「みのりせんべい」だが、製造元の変更等により器材の整備が遅れ、ここ数年売り上げが伸び悩んだ。しかし、製造元のたゆまぬ努力により、製造工程を確立し、ようやく軌道に乗り始めた。「みのりせんべい」の現状を製造元にて取材した。

(文責・教区報専門委)

愛されて30年「みのりせんべい」

「みのりせんべい」の製造工程

煎餅を焼く何とも言えない香ばしい、ほのかな香りが辺りに漂う。

ここは、福山市にある「しんふおにい」の作業場である。ここで焼かれているのは、「みのりせんべい」である。決して広いとは言えない二部屋ある作業場で、効率よく「みのりせんべい」が焼かれ、確認作業の後、袋詰めに行われている。休日を除き、毎日午前10時から午後1時30分まで作業が進む。機械の温度調節等の理由で機械を停めることができないため、「みのりせんべい」の製造は交代制で休みなく続く。一回の製造工程に、

「山口製菓」から「しんふおにい」へ

「みのりせんべい」の歴史を辿ると約30年前に遡る。教区内青年僧侶の会「備龍会」の発案で企画され、現在も備龍会事業の一環として教区内を中心として広く知ら



れている。数年前までは長年にわたり「山口製菓所」により製造されていたが、店主が高齢のためやむなく製造を中止することになった。その後、いくつかの候補の中から、「しんふおにい」に製造を委託することになり、現在に至っている。

「しんふおにい」は大阪の製菓所へ製造工程を学びに行かれ、みのりせんべい独特のサクサク感、香ばしい風味を研究された。しかし、「しんふおにい」に製造が移った当初は製造ラインが一箇所しかなく、なかなか製造が追いつかず、しばしば各寺院等からの注文に対応ができない事態が起こった。また、「みのりせんべい」自体の味が変わった等の意見もあり、販売数を伸ばせずにいた。そのような厳しい状況の中、注文に追いつ

◆お申込先

「しんふおにい」

※発送はこちらまで。

〒720-0031

福山市三吉町5丁目1番45号

TEL (084) 926-1754

FAX (084) 926-1764

【休日】土、日、祝日他

「備後教区教務所」

※取り置きはこちらまで。ただし、在庫には限りがございますので、遅くとも3週間前までにご予約ください。

〒720-0052

福山市東町2丁目4番5号

TEL (084) 924-5759

FAX (084) 931-9323

【休日】土曜午後、日、祝

商品名	個数	価格
800 みのり	18 袋入り	800円
1100 みのり	27 袋入り	1,100円
2700 みのり	100 袋入り	2,700円

※1袋3枚入り、賞味期限70日

※商品、価格帯は2/1現在。新たに企画・検討中のため、今後、変動の可能性あり。

f 特集 feature articles



齊藤典世 さん
NPO 法人富良野自然塾フィールド・ディレクター

『ECO』ってなんだろう？

北の国から…ある僧侶の挑戦―

なかった製造ラインは、同じく法人の作業場である「青葉」において、新たに器材を購入し、各寺院で主に永代経が勤まる4～6月、報恩講が勤まる9～12月あたりの、注文が殺到する時期にも対応できるようにした。

お法が広まることを願って

この様な状況を踏まえ、備龍会では新たな目標、試みを掲げる。例えば、現在では教区内での販売が中心だが、「みのりせんべい」

を通して浄土真宗のお法りが広まることを願い、販売する範囲を拡大し、そのための広報活動を模索中である。また、各寺院での法要の供物として寺院関係者が利用しやすいように、パッケージ色のバリエーションを増やすこと、注文する側のニーズに応じた枚数、価格帯の変更なども検討されている。

丁寧な、真心をこめて製造されている「みのりせんべい」には、昔も今も“ありがとう”“すみ

ません”“どうぞ”と焼き印が押されている。何気ない言葉かもしれないが、現代の人々が忘れかけている言葉だろう。またパッケージには“身は食で”“こころは法で”“生かされる”と記されている。私に真実の心を伝えてくれる“お法り”の種が、「みのりせんべい」には満ち溢れているように思えてならない。

ご注文はお早めに

現在の価格帯は別表を参照して

頂きたい。申込み、問い合わせは直接「しんふおにい」まで。別途送料がかかるが、発送していただければ。教務所でも申込み可能。先に述べた法要が多く勤まる時期で、注文数が多い場合はなるべく一ヶ月前までには注文していただきたいとのこと。また、寺院名等を「みのりせんべい」に焼く場合の焼き印は、17000円前後で作製できる。お申し込みは直接「しんふおにい」まで。

共に甲子園を目指した日々から、早30年が過ぎた。思えば筆者がキムタク【タレント…木村拓也】よりも早く髪を伸ばし、猿岩石【タレント】(古い!)よりも遠く旅へ出たのは、この人の悪(?)影響だったかも知れない。昭和59年度誠之館高校の野球部主将にして浄土真宗本願寺派僧侶。かつて林業従事の傍ら、ドラマ「北の国から」で有名な脚本家、倉本總さん主催の富良野塾にて演劇を学び、現在同氏のもと富良野自然塾フィールドディレクターとして活躍中の齊藤典世(さいとうのりよ)さんに話を伺った。(聞き手・松井一昭委員)

松井一昭委員 ちよつと、一言

では語れない多彩な経歴ですが、まずは現在の仕事について教えてください。

委員

(渡された名刺を見ながら)…といっても内容がピンとこないのですが(笑)

齊藤典世 NPO 法人富良野自然塾フィールド・ディレクター

をしてしています。

齊藤

2005年から北海道富良野市で、以前ゴルフ場だった場所を森に戻す仕事です。同時に環境教育の推進活動をしています。

委員 今、流行の「ECO」活動でしょうか。具体的にはどんな事を?

斉藤 自然塾立ち上げのきっかけは閉鎖されたゴルフ場の跡地利用を倉本氏が依頼されたからです。氏はかねてより環境問題に関心が高く、当時、人間がゴルフ場にしてしまった森を、それなら自分たちの手で元に戻してみようと。実際には、そんなに簡単ではないのですか、ミズナラ、ヤチダモ、カエデ、マツなどの植樹をし、少しずつ森へと変化していく過程を環境問題を考えてもらう場として提供しています。

五感体験型ECOフィールド

委員 と言うことは、テーマパークの様に実際に体験できるということですか?

斉藤 そうです。私たちのプログラムはおよそ3時間で人間の五感を使って体験学習をしてもらうというものです。「ECO」という言葉は今や流行語のようなものになつていて、人々の環境に対する意識も確かに高まりつつあります。でも、具体的にはどういうもののなのか?

「ECO」って循環?

委員 「出来ることから始めよう」ってキャッチコピーもあります。

斉藤 まずは現在私たちを取り巻く状況を知る:「気づく」ことから始めることだと思います。自然塾では環境の三要素を水、大気、土と考え、その「循環」の改善を課題としています。我々人間の営みも地球的規模で見ればわずかに地表と大気層の間、いわば箱(ケース)のような範囲で行われている



す。そして、ケースの中のあらゆる物質は決して無限ではない。そこで、ケースの中の水、空気、土の循環を見つめ直すことが重要になるわけです。

委員 なるほど。では、自然塾では実際にどんな体験ができるのですか?

見て、触って、はだして歩いてみよう

斉藤 例えば「はだしの道」体験では、直径1 $\frac{1}{2}$ の石の地球から伸びた460 $\frac{1}{2}$ の「地球の道」というところを、実際に裸足で歩いていきます。

委員 1 $\frac{1}{2}$ の地球、460 $\frac{1}{2}$ の道:、その数字というのは何料理道があるのですか?

斉藤 私たちの住む地球を直径1 $\frac{1}{2}$ に縮小すると大気の層はわずか1 $\frac{1}{2}$ になります。それをまず視覚で感じるのです。また、460 $\frac{1}{2}$ の道は46億年ともいわれる地球の歴史を、これも体験できる道の長さとして示したものです。ところで、地球誕生から現在までを460 $\frac{1}{2}$ に置き換えると、人類の歴史はどの位の長さだと思いますか?

委員 うーん、おそらくわずか

なものでしょうね。たぶん1 $\frac{1}{2}$ もないのかな?

斉藤 ほんの2 $\frac{1}{2}$ 分です(笑) おまけに産業革命以降、現在までを長さで表すと、わずか0.02 $\frac{1}{2}$ になります。そのわずかな長さの時間に我々人間は地球を激変させてしまった:。

委員 考えてみれば恐ろしいことかも知れません。

バーチャル・ウォーターとは?

斉藤 本当にそうです。また。水の重要性を知ってもらうために畳2枚分の石の板を色分けしたものを提供しています。

委員 色分けというのは?

斉藤 畳2枚の広さは、実は地球の表面積を表したものだ。その4分の3は青色、つまり海。残り4分の1は茶色で陸地を示しています。ところで、地球上の水の97%は海水ですが、これをビールの大ビン1本(約630ミリリットル)で表せば、淡水は小さい盃1杯(約17ミリリットル)となり、さらに地球上に存在する水のうち、人類を含めて生物が利用できるものは、わずか0.01%ですから、まさに1滴ほどなので

す。

委員 ビールの大ビン一本と、盃一杯と水一滴ですか。そう示されると水のありがたさがよくわかります。

斉藤 ところで、バーチャル・ウォーターって言葉を知ってますか？

委員 バーチャル・ウォーター？なんだろう？ゲーム用語みたい…。

斉藤 直接でなく、間接利用の水のことです。現代日本人の一日の水使用量は300リットルと言われますが、それは飲料用であつたりお風呂に入つたりなど、直接に使用する水の量です。

委員 では、間接利用というのは？

斉藤 例えば、牛丼一杯出来るまでには、もちろん牛を育てる牧草や飼料に…、また食肉加工にも水が必要です。さらに輸送、調理などを考えると間接的には、およそ2トンもの水が必要となります。

委員 牛丼一杯に2トンの水！それが、バーチャル・ウォーター…。うーん、気づかなかつた。

斉藤 そういったことも含め、

我々自然塾では地球的視点から、また演劇集団富良野塾出身のスタッフによる演劇的手法を駆使して皆さんに環境問題を身近に感じてもらいたいと思っています。

多彩な経歴 豊富な経験

委員 なるほど。ところで、富良野塾の話が出たついでに改めてご自身の経歴というか、現在に至る道のりを伺いたいのですが…。

斉藤 地元高校卒業後、龍谷大学進学が僧侶になるきっかけでした。最初は普通に学校教員を目指していたのですが、ある人の、僧侶は(子どものみならず)すべて

子どもたちに何を残すのか？『ECCO』の目覚め

の人々を導く先生ともいえる…という言葉に出逢つて、得度を決意しました。卒業後、種々の職業を経験し、インド、ネパール、タイ、インドネシア、諸国へ一人旅もしました。

委員 たしか、帰国後間もなく結婚されたんですね。

斉藤 そうです。その後、子どもが生まれたことを期に環境問題に興味を持ち、広島県山懸郡(現

安芸太田町)に移り住み、延べ8年間林業に従事しました。

委員 その頃でしたか。演劇の道を目指したのは。

斉藤 倉本氏の富良野塾へ入り、二年間仲間と共に寮生活をしました。

委員 その間は家族と離れて？

斉藤 そうです。でも、ついに平成17年家族と共に富良野へ移住しました。そして平成18年自然塾開塾、現在に至るわけです。

委員 まさに波乱万丈の半生といった感じですが、最後に自然塾ディレクター、また一僧侶としてメッセージをお願いします。

「ECCO」って仏教的？

斉藤 私は今、縁あつて環境問題に取り組んでいます。が、「ECCO」というのは決してブームやファッションではなく、ましてや企業のイメージアップなどの経済活動でもありません。もっと「いのち」の根源に関わる大切なことです。私が環境改善策の中で使った「循環」という言葉は仏教的に

言えば、「輪廻」と言い換えることも出来るでしょうか？

人間のみならず、すべての「いのち」のつながりを考えていくことだと思つてます。機会があれば皆さんも是非富良野へお越しください。

〈取材を終えて〉

冒頭に紹介した通り、斉藤氏は筆者の旧友である。旧友が集えば、昔話(特に野球部時代の)に花が咲くものだが、氏が昔を語った記憶は私にはない。それは斉藤氏が未だに過去を振り返る暇など無いようでもあるし、また氏の目はいつも遙か未来を見つめているようでもある。

いづれにしても、インタビュ中に氏が語った「僧侶である自分の発想の原点は常に仏教にあり、そして仏教とは大自然の中から生まれた教えだと思う。」という言葉が心に残った。

「寺を持たない一僧侶」としての斉藤氏の今後の活動に注目したい。



& 活動情報

News

「読んで聞く法話シリーズ①」
「お通夜をご縁に。」

布教団

【布教団】備後教区布教団では「親鸞聖人750回大遠忌記念」プロジェクトを立ち上げ、記念布教大会など開催しているが、現代社会に対応した布教の一環としてこのほど、「読んで聞く法話シリーズ①」として「お通夜をご縁に」

と題したリーフレットを編集制作し頒布をはじめた。白黒の印刷、B6版サイズで4ページ。一部単価5円。今回のリーフレットは形骸化する通夜や葬儀、さらに近年話題となっている「直葬」などに対し、

悲しい。
怖い。
寂しい。
苦しい。

そんな様々な思いが錯綜する場所
そこが「お通夜」です。

お通夜
をご縁に。

そこで、ちょっと読んでみてください。
お坊さんの言葉を読んでみてください。

本来の通夜や葬儀の意味を考えてもらおう、というのが願い。したがって一切仏教用語は使わず、通夜に参列した人に対し「死」「いのち」「別れ」など人間存在の根本にかかわることについて考えるきっかけになるよう編集されている。デザインでは若い女性の顔写真をアップで使っているのが特徴で、斬新さをもって若い人々にも読み易い編集となっている。注文は教務所内の布教団事務局(担当・溝口)まで。



讃仰作法「音楽法要」を研修

【勤式】10月26日、秋季勤式研修会を開催し、大遠忌に向けて制定された「宗祖讃仰作法(音楽法要)」について研修した。僧侶だけでなく、法要での指揮者や伴奏者を対象とし、各組・各寺院でのお待ち受け法要の際に音楽法要を依用していただくことを目的とした研修会であった。講師は仏教音楽研究員の福本康之師。今後とも宗祖讃仰作法普及のための研修会を開催していく予定。

教区月報 (敬称略)

25日	25日	21日	20日	20日	18日	18日	11日	8日	8日	1月	28日	27日	24日	21日	14日	11日	7日	4日	2日	12月	30日	27日	26日	26日	11月
同朋三者懇専門委員会	基推同朋部会	基推常任・組相談員協議会	憲法問題公開学習会	基推同朋部会	合同会議	各種専門委員会正副委員長	基推広報伝道部会	会館常例法座(田坂英尊)	組画調整常任委員会	宗務初め	午後より宗務納め	若婦人専門委員会	備龍会会館清掃奉仕	組長会	青年布教使の会研修会	会館常例法座(真澄慎二)	基推常任委員会	基推広報伝道部会	基推推進者養成研修会	会館報恩講	勤式練習会	門徒推進員のつどい(福山27日まで)	仏婦役員会	門徒推進員のつどい	11月

僧侶研修会へ95名参加



筑波大学
今井雅晴 名誉教授

【広報伝道部会】 2月10日、昨年に引き続き、筑波大学名誉教授の今井雅晴師をお迎えして僧侶研修会を開催し、教区内僧侶95名が参加した。

テーマⅠの「鎌倉時代の仏教と浄土真宗」では、当時の思想背景を踏まえて、鎌倉時代の新仏教、浄土宗や日蓮宗における法華経のとらえ方などの講義をされた。

続いて、テーマⅡの「親鸞聖人と息子善鸞」では義絶事件についての従来の見方を検証し、現代からどう見るべきかを講義された。

親鸞聖人700回大遠忌の時に構築された歴史観を、明年の750回大遠忌を縁として新たに

検証していく必要があることを重ねて述べられた。
教区内僧侶全員の研鑽の場として、更に参加者が増えるよう期待したい。



自死遺族から学ぶ



「こころのカフェ京都」
石倉紘子 代表

【同朋部会】 去る2月23日、本願寺備後会館にて今回で3回目となる「自死を考える学習会」が行われた。このたびは自死遺族のサポート活動を行っている「こころのカフェ京都」代表の石倉紘子さんを迎えて「自死の現状と課題」というテーマのもと話された。石倉さんご自身も家族を亡くされており、遺族の立場で、また今までのサポート活動の中から貴重なお話を聞かせてくれた。参加者も関心が高く、熱心に聞き入っており、その後の質疑の時間では、多くの質問が集まり、石倉さんはそれに対して、ひとつひとつ丁寧に応答されていた。年間約3万人もの自死者がでている現在において、念仏者の立場として、どうすればいいのかを、これからも学びを深め、今後継続して学習会を行っていく。

27日	基推門信徒部会
28日	ビハーク研修協議会
28日	組画調整常任委員会
29日	寺婦勉強会
2月	
1日	会館休館日(2日まで)
3日	布教団役員会
4日	勤式練習会
5日	同朋三者懇話会(尾道)
8日	矯正教化連盟広島管区
10日	支部研修会(福山9日まで)
11日	僧侶研修会
13日	会館常例法座(藤井義英)
13日	連区仏壮連盟連絡協議会 (山口14日まで)
13日	お寺の子どものつどい (廿日市市吉和14日まで)
17日	常備会
17日	キッズサンガ推進委員会
20日	連区仏壮研修準備会議
21日	ほほえみ講座
23日	自死を考える学習会
25日	連区仏婦連盟連絡協議会 (四州26日まで)
26日	布教団部門別・基幹運動研修会・臨時総会
3月	
1日	仏婦役員会
1日	会館責役・総代会
2日	教区報専門委員会

& 活動情報

News

予報

「組画編成」にかかる説明会

本山の「組画編成基本概要」に基づき設置された「備後教区組画編成等調整委員会」。現行の組画編成及び関連する諸問題など、各組の状況及び意見、要望などを拝聴し、調査検討するための説明会が左記の地域で開催されることとなりました。皆さまのご出席をお願い致します。

各組開催日時【説明会所要時間：約2時間】

組名	期日	時間	会場
中・奥	3月19日(金)	16時	芳井町生涯学習センター
沼隈西・沼隈南	3月29日(月)	16時	本願寺備後会館
備中里・深津	4月1日(木)	16時	本願寺備後会館
鴨川・鴨川北・芦田・神石	4月8日(木)	16時	徳円寺
御調東・御調西	4月9日(金)	16時	照源寺
三次	4月15日(木)	19時	三次文化会館
三谿	4月15日(木)	14時	明覚寺
比婆	4月19日(月)	19時	西楽寺
世羅	4月26日(月)	16時	照明寺

※合同開催する組を合併することはありません。

平成22年度 夏期布教大会

今年も布教団による夏期布教大会を左記の内容で行います。皆様お誘い合わせの上、ご参拝下さいますよう、ご案内申しあげます。



期日 6月18日(金)
会場 本願寺備後会館
本講師 浅井成海 先生
副講師 (教学伝道研究センター所長) 副団長、布教団員4名が出講

会館常例法座出講者

(敬称略)

4月 竹政信至 (鴨川組正覚寺)
5月 福岡玄猷 (三次組源光寺)
6月 那須英信 (沼隈南組善正寺)
7月 深水正道 (三次組専正寺)

Radio BINGO
お坊さんステーション
FMびんご 77.7メガヘルツ
毎週 月曜日&木曜日
午後6時10分頃

3日 記念式典「親鸞さまとであう集い」・レセプション (広島)
4日 創作劇記念公演 (広島6日まで)
5日 参与会幹事会
5日 参与会総会・聞法会
8日 連区教化連絡協議会 (広島9日まで)
9日 7回サポーター連絡協議会
10日 門信徒のつどい
11日 会館常例法座(佐々木弘海)
13日 連研履修者研修会
15日 基推総会・研修会
16日 教区会
16日 勤式練習会
18日 勤式研修会

得度許可

おめでとう
ございます

備中里組 正専寺

〔敬称略〕

濱田 崇史(崇善)

深津組 専光寺

泉 純次(純次)

比婆組 浄蓮寺

法藤亜希子(浄亜)

世羅組 光源坊

徳永 将之(晏穩)

御調西組 憲徳寺

(平成21年10月15日付)

松井 宏之(宏徳)

(平成21年11月12日付)

敬 弔

お悔やみ申し
上げます

〔敬称略〕

御調東組 永正寺

前坊守 柿原 和子

(1月23日寂)

芦田組 光秀寺

前坊守 武田 序子

(2月26日寂)

お見舞い返礼

ありがとうございます
ございます

神石組 正善寺様

よりお見舞い返礼を頂きました

今後の予定

3月

19日 中・奥組説明会(芳井町)
25日 組長会
27日 仏壮連盟理事会
28日 特別布教大会
29日 沼隈西・南組説明会

4月

1日 備中里・深津組説明会
8日 鴨川北・芦田
・神石説明会(徳円寺)
8日 基推門信徒部会
9日 御調東・西組説明会
(照源寺)
10日 仏壮連盟総会・研修会
11日 会館常例法座(竹政信至)
13日 仏婦連盟総会・研修会
15日 三次組説明会(文化会館)

15日 三谿組説明会(明覚寺)
19日 ブロック保育連盟
連絡協議会(安芸)

19日 比婆組説明会(西楽寺)
20日 少年連盟役員会
20日 キッズサンガ推進委員会
21日 基推広報伝道部会
22日 基推同朋部会
23日 寺婦若婦人研修会
26日 世羅組説明会(照明寺)

5月

11日 会館常例法座(福間玄猷)
13日 基推総会
17日 矯正教化連盟支部総会
(安芸)
23日 布教団布教実習
(深津組光栄寺)
25日 中・四国地区仏婦大会
(四州)

インフォメーション

→可愛いイラストを是非ご利用ください。備後教区のホームページからダウンロードできますよ♪

〈備後教区〉で検索→備後教区のホームページを開く→〈ダウンロード〉をクリック→〈イラスト素材〉をクリック



教化資料
BOX

お寺の風景

1200年の歴史をもつ、佐賀県の武雄温泉。シンボルとなっているのが「元湯」にある朱塗りの楼門。写真である。その近くに1591年

創建の佐賀教区武雄組正法寺(藤尾真正住職)がある。

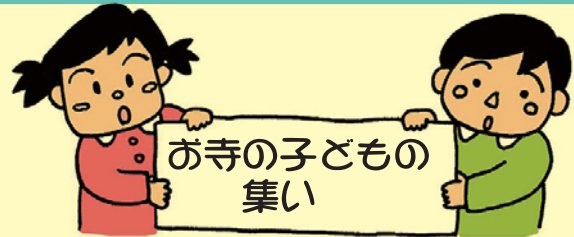
表紙の写真は御正忌報恩講の荘厳である。ご門徒の方が6日間ぐらひかけて立華をかける。後継者が心配されていたが、呼びかけで集まり一安心。最近はお花を、山の木々や花が花材として使えるか気になるようになった。

法要は一週間勤まるので、花が枯れないよう終わるまで目が離せない。





2月13日、14日、廿日市市吉和にて「お寺の子ども集い」を開催。安芸教区佐伯奥組専立寺（能島華蓮住職）で開会式を行い、ご住職の法話を聴聞。その後は女鹿平スキー場でスキーや温泉を楽しんだ。今後とも広く呼びかけ、お寺の子ども交流の機会を設けていきたい。



感想文の紹介
「すごい山の奥みたいなのに、滑って楽しかった。スキーが楽しかった。また、行ってみたい。」
「新しい友達ができてよかった。一番上のリフトまで登って滑って楽しかった」



●中国ブロック記念事業より。

記念式典「親鸞さまとであう集い」終了後、ご門主一行、参加者が原爆慰霊碑へ献花される様子。



世界中を沸かせたバンクーバー冬季五輪が閉幕した。日本勢は、前トリノ大会の成績を上回る五個のメダルを獲得し、大会を終えた。開催中は、夜更かしをして応援に励んだ方も多いと思う。残念ながら、スケート以外の日本選手はメダルには至らなかったが、前向きに取り組む彼らの姿は多くの人々の心を揺らした▼ご門主はある対談の中で、「近年の宗門は深刻な問題を抱えており、その原因の一つが、舵取りとしてのハンドル（教義）は有るが、人々の元気を出すようなエンジンとしての言葉、行動が不足している」と述べられた。目標を目指して懸命に努力する選手に、私も彼らのような熱意のある、他者にエネルギーを与えることができる僧侶でありたいと思う▼教区報編集部では、皆さんのエンジンにガソリンを……とまではいかなくとも、パワーアップの添加剤をお届けできるよう取り組んでまいります。（K・H）